

4-2 協働推進基本方針に基づく主な協働の取組成果

基本構想の実現のためには、区と区民とが地域の活動やそれを担う人材を育み、地域の力を高め、支えあい、共につくる地域社会を築いていくこと、すなわち「参加と協働による地域社会づくり」が必要です。

そこで、区は協働推進基本方針を定め、次の3つの方針を柱に取組を進めています。

方針1 区民参加の促進

～区民参加による地域社会づくり～

方針2 地域人材の育成と地域活動環境の充実に向けた支援

～多様な主体の協働による地域の公共的な課題の解決～

方針3 協働を支える情報発信と、区と区民とのコミュニケーション充実

～参加と協働を支える区民とのコミュニケーションの充実～

平成28年度は、上記方針に基づき、区と区民や地域団体が連携・協力することで地域課題を解決する取組や地域で活躍する人材育成を進めたほか、地域活動の支援にも力を入れて取り組みました。

協働推進基本方針に基づく各取組項目の成果は次頁以降のとおりです。

方針1 区民参加の促進

(1) ボランティアとの連携による地域課題の解決

	項 目 名	主 な 取 組 内 容
1	防犯対策の推進	落書き消去活動や区境パトロール、振り込め詐欺根絶に向けたキャンペーンなどを、区民、地域団体、警察署、隣接自治体等と協働して実施することにより、刑法犯認知件数は、戦後最多であった平成14年以降、14年連続で減少させることができました。
2	消費生活サポーターによる「出前講座」の実施	高齢者施設や学校等からの依頼に応じて、講習を受けた区民である消費生活サポーターによる「出前講座」を実施しました。寸劇・クイズ等の講座内容を対象者に合わせて工夫し、分かりやすく悪質商法の実態を周知することにより、消費者被害の防止に役立てることができました。 また、各機関・団体へPRすることにより、「出前講座」の依頼者を拡大することができました。
3	水鳥一斉調査の実施	善福寺公園・善福寺川緑地・和田堀公園の3か所において、区民277名の参加による水鳥一斉調査を実施しました。水鳥一斉調査の参加者は年々増加し、川への関心を高める効果が期待されます。 一斉調査を継続して実施するとともに、川に関するシンポジウムで調査結果を区民にお知らせすることで、更なる川への関心につなげることができました。
4	自転車放置防止協力員の活動	自転車放置防止協力団体数が、1団体加入により55団体になりました。 区と地域住民が連携を図り、駅周辺において放置自転車による交通環境の悪化防止に取り組んだ結果、駅周辺の放置自転車台数は平成27年度の1,172台から1,035台(平成28年度末)に減少しました。
5	花咲かせ隊の活動	地域の住民が、ボランティア団体「花咲かせ隊」(132団体)として、身近な公園の花壇等を管理することにより、区民の緑化・美化に対する意識を醸成するとともに、公園の利用拡大や地域活動の活性化を図りました。
6	すぎなみ公園育て組の活動	地域の住民が、ボランティア団体「すぎなみ公園育て組」(44団体)として、身近な公園で清掃や植栽の手入れ等の活動を自主的・主体的に行うことにより、公園への愛着心や公園利用マナーの向上につなげました。

7	みどりの保全に向けたボランティア活動	<p>「みどりのボランティア杉並」や認定みどりのボランティア団体が、公園・緑地・いこいの森等で定期的に緑化活動を実施し、協働によるみどりの保全・育成に貢献しました。</p> <p>みどりのイベントの開催のほか、新たに屋敷林・農地の保全活動をボランティアと区が協働で行うなど、協働の活動範囲が広がり、みどりの保全に対する区民の関心や意識が高まりました。</p>
8	阿佐ヶ谷駅南口広場、高円寺駅北口・南口広場等における清掃への協力	<p>区と地域のボランティアの清掃活動により、多くの区民の憩いの場所となっている駅前広場を清潔に保ちました。</p>
9	違反広告物の除却活動	<p>区に登録した除却協力員（平成28年度末1,182名）と区が協働で屋外広告物法（東京都屋外広告物条例含む）に基づく違反広告物の除却を行いました。（年間除却枚数計14,796枚）</p> <p>地域住民による除却は、区単独で行うよりもきめ細かく気づいた時に行っているため、常にまちの美化が保たれるとともに、防犯の効果も期待されます。</p>
10	道路保全への区民参加	<p>地域ボランティア団体「すぎなみ美・道路組」18団体が道路の清掃活動を行いました。また、10か所の道路の植栽地で花苗の植付けや水やりなどの手入れを行い、道路をきれいに保つとともに、区民の道路保全への理解を深めました。</p>

(2) 区民参加の機会の拡大

	項 目 名	主 な 取 組 内 容
1	地域防災力の向上	<p>発災後、地域住民が迅速かつ円滑に震災救援所を開設し運営できるよう、マニュアルの作成を進めるとともに、震災救援所や防災リーダー養成講座などにおいてHUG（避難所運営ゲーム）訓練を実施しました。</p> <p>新たに阿佐ヶ谷駅前滞留者対策連絡会を設置するとともに、既に設置している西荻窪駅では大地震を想定して商店街、町会、交通事業者などが参加した訓練、荻窪駅では課題をより掘り下げるための図上訓練をそれぞれ実施しました。</p>
2	区民の参加による健康づくり	<p>地域自主グループ及び区で養成した健康づくりリーダーによる健康づくりの普及啓発活動に加え、区内運動事業者との連携による運動教室や、杉並区歯科医師会等と共催で歯と口腔の健康に関するイベント「よい歯ファミリーフェスティバル」を開催するなど、関係機関や運動事業者等と連携しながら区民の健康意識を高め、主体的な健康づくりが行われる地域づくり活動を展開しました。</p>

3	まちづくり条例に基づくまちづくりの推進	荻窪駅周辺では、地域住民主体のまちづくり協議会によるまちづくり構想の区への提案等を踏まえ、まちの将来像と目標、その実現に向けた取組の方向性を明らかにする「荻窪駅周辺まちづくり方針」の策定を進め、平成 28 年度末に方針（案）を取りまとめ、公表しました。
4	省エネルギー及び創エネルギーの普及・推進	NPO団体やエネルギー事業者との協働により、それぞれの専門性を活かした省エネ相談窓口（計 19 回）と地域巡回型省エネ相談窓口（計 6 回）を開設し、省エネに関するアドバイスを行いました。また、電力自由化について学習する講演会や、太陽光発電機器を設置した方及びこれから設置を希望する方との情報交換会・パネル展を開催しました。 参加者からは省エネ・創エネに関する質問も多く寄せられ、関心を高めることができました。
5	区民等の参加による学校運営	地域運営学校を新たに 6 校指定（累計 38 校）し、地域住民や保護者が一定の権限を持って学校運営に参画する取組を着実に進めました。 また、学校支援本部に配置する「学校・地域コーディネーター」を新たに 22 人増員（累計 213 人）して、学校と地域との調整や学校サポーター・外部講師を確保するための機能の拡充を図りました。

方針2 地域人材の育成と地域活動環境の充実に向けた支援

	項目名	主な取組内容
1	男女平等推進センター啓発講座の実施	区内女性団体等の企画・運営により、男女共同参画に関する啓発講座を 5 講座開催し、297 人の参加がありました。講座募集に対し、複数の新規の団体からの応募もあり、地域活動団体への活動の場や機会を提供することができました。また、講座内容も在宅ワークという働き方を学ぶセミナーや性的マイノリティがテーマのものなど幅広く実施できました。
2	地域活性化事業への支援	加入率の低下や、役員の高齢化などの課題を抱える町会・自治会に対して、地域の活性化を目的とした「まちの絆向上事業」の助成を計 19 団体に対して行いました。 また、本制度の活用を促進するため事例集を作成し、全町会・自治会へ配布しました。

3	地域区民センター協議会への支援	<p>地域コミュニティの活性化を目的に、地域区民センター協議会が住民や団体等と相互交流する活動を支援するため、事業費を補助しました。</p> <p>また、各地域で活動する団体と地域特性を活かした協働事業を7所計47事業、地域懇談会を8回開催しました。</p>
4	すぎなみフェスタの開催	<p>「すぎなみフェスタ 2016」は、11月5日(土)6日(日)の2日間で延べ104,000人が来場し、にぎわいの創出と杉並の元気を生み出すイベントとなりました。</p> <p>開催に当たり、区内の企業・団体等から135団体のテントの出店と広告協賛に延べ240件、運営協賛に延べ87件のご協力をいただきました。</p>
5	協働提案制度の実施	<p>平成28年度は、新規2事業（①空き店舗のデータベース作成と商店街・創業者のマッチング事業②すぎなみレッドリボンプロジェクト〔若年世代等に向けたH I V等性感染症予防の普及啓発〕）と継続3事業（①すぎなみ戦略的アートプロジェクト②障害者施設ネットワーク基盤の強化③子どもプレーパーク事業）の計5事業を実施しました。</p>
6	NPO等の活動支援	<p>すぎなみ協働プラザは、地域活動団体の交流拠点及び協働のコーディネーターとして、様々な相談への対応や各種事業の実施、情報発信などを着実に実施し、NPO等の活動を支援しました。</p> <p>平成28年度NPO活動資金助成では、5団体に計1,441,533円の助成金を交付し、団体の活動を支援しました。</p> <p>NPO支援基金の普及については、「すぎなみチャリティフェスタ」や、NPOと寄附をテーマとしたセミナーを開催するなど、支援基金に対する区民への周知及び理解の促進に努めました。</p>
7	中央線あるあるプロジェクトの推進	<p>「中央線あるあるプロジェクト」のフラッグ掲出に協力的な商店街が増加しています。また、英語版ウェブサイトやフェイスブックの内容充実及び外部事業者との連携などにより「中央線あるあるプロジェクト」の認知度向上と、効果的なPRを行うことができました（英語版ウェブサイトページビュー数：34,727件、フェイスブックのいいね！数：4,139件）。</p> <p>さらに、多言語化を促進するために、荻窪駅・西荻窪駅周辺の204店舗の協力を得て、英語メニューを作成・配布し、高円寺駅・阿佐ヶ谷駅周辺と併せ600店舗以上に英語メニューを展開するなど、急増する訪日外国人旅行者の受入環境の整備を行いました。</p> <p>このほか、区内アニメ制作会社と区内イベント（高円寺フェス、すぎなみフェスタ）が連携し、アニメコンテンツを活用した事業「でっかい夢を打ち上げよう!!アニ×ドリーム 2016 in すぎなみ」を実施し、区内外から多くの来街者を集めることができました。</p>

8	区内農産物の地産地消の推進	<p>農業情報誌「杉並農人」の発行（第2～4号）、学校給食地元野菜デーの開催（配送支援事業）などの周知・支援事業のほか、杉並保健所と連携した杉並産野菜を使ったレシピ集の発行や交流自治体物産展での即売会開催、JR阿佐ヶ谷駅構内での即売会「のものマルシェ」等、区内農産物の販売経路の拡大に努めました。</p>
9	「都市農地を守ろう！」アグリフェスタの開催	<p>「アグリフェスタ 2016」を10月に杉並区役所で開催し、3,000人余りの参加がありました。主なイベントとして、JA東京中央副組合長・世田谷区長・杉並区長の三者による意見交換や杉並・世田谷産の農産物即売会、農産物の重さ当てクイズや寄せ植え体験等を実施しました。また、両区の名産やJA東京中央の一押し商品が当たる抽選会など、都市農業を理解していただく楽しいイベントを開催しました。</p>
10	すぎなみ地域大学の運営	<p>社会教育センター（「すぎなみ大人塾」事業）や杉並ボランティアセンターと協働した合同の講演会やシンポジウムの開催、共同講座の開講など、関係機関との連携・協力体制を充実しました。</p> <p>平成28年度実施講座として、地域活動基礎コース5講座、実践コース17講座、ステップアップコース12講座、講演会3講座の計37講座を開講し、1,074人が受講しました。</p> <p>修了基準を設けている実践コース講座の修了生のうち、実際に地域活動を実践している人の割合は約86.3%となっており、毎年度高い比率を維持しています。</p>
11	地域人材を発掘し、育成するための新たな仕組みづくり	<p>すぎなみ地域大学では、地域活動に関する区民の関心のすそ野を広げるため、地域活動団体の活性化に関する講演会やシンポジウム等を実施し、地域の公益活動に対する区民の理解促進と参加を呼び掛けました。</p> <p>地域の公共的な活動を行う町会・自治会を対象に、現在抱えている人材不足等の課題解決のため「町会・自治会加入促進、活動活性化講座」を区と杉並区町会連合会との協働で8回実施し、261人が参加しました。</p>
12	災害時要配慮者支援の推進	<p>災害時要配慮者対策連絡協議会における検討内容を踏まえ、災害時要配慮者の搬送に関する行動指針の策定及び福祉救援所との情報の共有化を図る連絡会の設置に向けて関係機関との調整を行いました。また、福祉救援所として新たに民間福祉施設3か所と協定を締結し、受け入れ態勢の拡充を図りました。</p>

13	ゆうゆう館協働事業の実施	<p>ゆうゆう館全 32 館で、運営事業者であるNPO法人等の自主企画により事業を実施しました。平成 28 年度は、10,921 回、118,381 人と実施回数、参加者数も年々着実に増加しており、ゆうゆう館を拠点として行ってきた事業が定着しています。地域に根付いた事業実施により、ゆうゆう館の地域への認知度が上昇するとともに、地域人材の発掘、活用へとつながり、地域の活性化に寄与しました。</p>
14	ひとり暮らし高齢者等たすけあいネットワーク(地域の目)事業の実施	<p>あんしん協力員・あんしん協力機関による高齢者のゆるやかな見守り活動が地域に浸透し、全体の見守り通報件数が年々増加しています。あんしん協力機関は社会貢献への積極的取組を機運として増加しており、今後も地域の担い手として日常業務を通じた見守りを行うことで、高齢者の状況に応じた重層的な見守り体制を強化していきます。こうした取組を通して、地域全体の見守り意識の促進や見守り力の向上を図り、安心・安全な地域づくりを推進します。</p> <p>また、たすけあいネットワーク(地域の目)は地域の自主的な取組として、外出することが少ない高齢者を、地域の自主グループ活動や社会福祉協議会、ゆうゆう館等で実施されている高齢者の居場所としてのサロンへの参加につなげるため声かけを行い、地域社会からの孤立を予防しています。</p>
15	子ども・子育てメッセの開催	<p>子ども・子育てメッセの開催に向け実行委員会を 8 回開催し、子育てを応援する地域の団体やNPO等の意見を開催内容に反映しました。</p> <p>子ども・子育てメッセ開催前にプレ・メッセを開催することにより、出展団体同士が交流を深め、連携を強化することができました。</p> <p>2 月に開催した子ども・子育てメッセは、過去最高となる約 3,300 人の来場者を迎え、乳幼児親子と地域の子育て支援団体等がつながるきっかけを作ることができました。</p>
16	地域子育てネットワーク事業の実施	<p>各小学校区域で、地域住民等との協働による地域伝統行事や防災訓練等を延べ 1,900 回以上実施し、世代を超えた人々の交流を促進するとともに、関係機関と地域団体等で構成する連絡会を定期的に開催するなど、地域全体で子育て家庭を見守り、支える取組の充実を図りました。</p>
17	民間運動施設との協定による生活習慣病予防の推進	<p>「区民の健康づくり活動に関する協定」を新たに 2 事業者と締結し、協定民間運動施設は 4 事業者となりました。運動サポート教室には、新たな 1 事業者が加わり 3 事業者との協働によって年間合計 18 教室、78 回の運動サポート教室、延べ 302 人が参加しました。</p> <p>日常的な運動習慣のない区民に対して、生活習慣病予防のために、身近な民間運動施設を気軽に利用できる環境づくりが期待できます。</p>

18	食育の推進	<p>食育推進ボランティアは、平成 28 年度のすぎなみ地域大学の受講修了者 23 人を加え、登録数 167 人となりました。食育ボランティアをはじめ、区内農家、飲食店、青果店の積極的な参加と協働による地産地消の食育イベントの実施、杉並産野菜の献立集の作成配布等を通じて、野菜の摂取拡大に向けた普及活動が広がっています。また、健康な食事普及活動実行委員会主催による食育シンポジウムの実施により、PTA、町会、民生児童委員による食育への協力及び普及活動が広がりました。</p>
19	ヘルシーメニュー推奨店事業の実施	<p>平成 28 年度の新規登録及び認証ヘルシーメニュー推奨店は 23 店舗増えました。また、食育推進ボランティアとの協働により 562 店舗のヘルシーメニュー推奨店に栄養・健康情報チラシを 60,000 枚配布し、区民に情報提供を行いました。こうした協働によりヘルシーメニュー推奨店事業が拡充し、区民の健康的な食を選択しやすい環境整備をしています。</p>
20	わがまち一番体操の実施	<p>わがまち一番体操には、25 会場で 470 回、計 10,289 人、また、介護予防普及啓発イベントに協力した身体能力測定会には、9 会場で 477 人の参加がありました。</p> <p>区民のボランティア（NPO 法人）が、介護保険事業計画に基づき、区と協働して介護予防の普及啓発を行うことで、地域での自主的な取組につながっています。</p>
21	交通安全啓発キャンペーン等の実施	<p>区内各警察署・交通安全協会と連携し、地域で発生する事故の特性に合わせた交通安全啓発キャンペーン（7 回）・その他イベント（8 回）を開催した結果、区内における交通事故発生件数は、1,338 件と前年に比べ 111 件 7.7%減少しました。</p> <p>また、自転車安全利用講習会を、実技・講義合わせて 9 回開催しました。</p>
22	地域教育推進協議会の支援	<p>天沼中学校区の地域教育推進協議会では、チャリティー活動に天沼中学校OBの高校生の参画が広がっているほか、高円寺地区の同協議会でも、高円寺中学校生徒を主体とした地域交流行事が実施されるなど、次世代の地域人材の育成と活動の充実が図られました。</p>
23	郷土博物館における区民参加による協働展示の企画	<p>NPO による協働展示（2 件）に加え、新たに専門的知識等を有する個人による「荻窪暗渠展」を実施するなど、より多くの区民の興味関心を得て観覧者数の増加につながるよう、協働展示の更なる充実に向けた取組を進めました。</p>

方針3 協働を支える情報発信と、区と区民とのコミュニケーション充実

	項目名	主な取組内容
1	地域応援サイト「すぎなみ地域コム」の運営	平成 28 年度は、15 団体の新規利用申込みがあり、利用登録団体数は、284 団体となりました。また、年間のアクセス数(ページビュー)は 677,951 件(平成 27 年度比 15,457 件増)で、月平均約 56,500 件となるなど、多くの方々に地域活動団体の活動状況を発信することができました。
2	すぎなみ学倶楽部の運営	区民参加型のウェブサイトとして、50 人の区民ライターが自由な視点で取材した記事を掲載し、様々な杉並の魅力を紹介できました。(ページ数:58 件、コラム数:188 件、アクセス数(ページビュー)558,944 件(平成 27 年度比 40,713 件増))
3	すぎなみ子育てラボラトリーによる子育て情報の発信	毎月開催する編集会議で議論を重ね、取材・執筆を行ったことで、子育て中のメンバーの視点を「すぎなみ子育てサイト」の区民参加コンテンツ「すぎラボ」の掲載記事に反映することができました。 メンバーの積極的な取組により、子育て世帯向けイベントや赤ちゃんにおすすめの絵本の紹介など、34 本の記事を掲載することができました。
4	ICTを活用した災害情報の収集と発信	「すぎナビ」は、災害発生時に区民から被害情報の提供を受け、その状況を把握するとともに、最新の被害状況や安全な避難経路等の情報を区民に発信し、共有することにより、二次被害の防止につながります。 防災地図アプリ「すぎナビ」の普及のため、防災訓練等でチラシ・ポケットマニュアル等を配布し、周知を図りました。(28 年度末ダウンロード数 7,234 件)